

【特別講演会のお知らせ】

ひきつがれる酪農文化

～ユーラシアの先史時代における起源から現代の多様性まで～

マックスプランク人類史科学研究所のクリスティナ=ワリナー先生をお招きして！

分子生物学の方法を用いて過去の人類活動を研究する考古生化学の世界的な牽引者である、ドイツのマックスプランク人類史科学研究所のクリスティナ=ワリナー教授が来日されるに当たり、(独) 国立文化財機構奈良文化財研究所の庄田慎矢先生のお力添えにより、クリスティナ=ワリナー先生の特別講演会を、急きょ、下記の通り開催することになりましたので、ご案内申し上げます。



記

1、開催趣旨

人類がその昔、どのような食生活を行っており、例えば、ミルクの利用はいつ頃からどこで始まり、どのように世界に広がって行ったのかというテーマは、現代人の食生活を考える上で大変意義のあることです。近年、遺跡から出土される土器などに付着している物質を分析する方法で、人類の過去の食生活を解明する研究が行われてきました。最近では、分析技術の発展により、こうした方法に加え、遺跡から出土するヒト化石の歯に付着する歯石に含まれる DNA やタンパク質の分析で、より豊かな情報を得られるようになってきました。クリスティナ=ワリナー先生の研究は、その最先端を行くものです。

こうした考古生化学の新しい研究の状況やその成果について、お話し頂きます。

2、開催日時

2018年7月16日(月・祝日) 午後 14時～16時(予定)

3、開催場所

一般社団法人Jミルク会議室 (東京都中央区築地4丁目7-1築地三井ビル5階)

4、主催

乳の学術連合・乳の社会文化ネットワーク
(協力 一般社団法人Jミルク ミルク一万年の会)

5、定員 60名

6、スケジュール

【特別講演】

「ひきつがれる酪農文化～ユーラシアの先史時代における起源から現代の多様性まで～」

講師：マックスプランク人類史科学研究所 クリスティナ=ワリナー先生
(通訳 (独) 国立文化財機構奈良文化財研究所の庄田慎矢先生)

【質疑応答】

モデレーター 国立民族学博物館 小長谷有紀先生

【講師の略歴】

クリスティナ=ワリナー 博士

マックスプランク人類史科学研究所 考古遺伝学部門 微生物叢科学グループリーダー

オクラホマ大学 特別教授、オクラホマ大学 人類学科 助教授

2010年にハーバード大学において博士号を取得された後、スイスのチューリッヒ大学の進化医学センターにおいて博士研究員としての研修を修了されました。

10年以上にわたり古代 DNA の研究に従事され、これまでに、人類の移動、古代人の食生活、ヒトの祖先の微生物叢の復元について、先駆的な研究成果を発表されています。特に、古代人の微生物叢についての研究成果は、米国の雑誌「ディスカバリー」の「2014年の科学的発見トップ100」の1つに選ばれ、2017年には米国の非営利団体である Society for Science & the Public が選出する「革新をもたらす科学者トップ10」の1人にも選ばれています。

数々のドキュメンタリー番組にも主演されており、ヒマラヤ山脈への定住化に関する最新の研究成果は、米国 PBS 放送の科学ドキュメンタリー番組「NOVA」のスペシャル番組「空の古墳の秘密」と児童書籍「空の洞窟の秘密」で紹介されています。

2014年に米国科学アカデミーのフェローに就任され、2012年には米国 TED のフェローに就任されています。TED は幅広い分野の専門家による講演会を主催している非営利団体であり、TED での「古代人の歯石と食生活の進化」に関する講演会の動画は、200万回以上再生されています。

2017年からは、先史時代の酪農技術の起源と伝播についての研究を行う大規模な多国籍研究グループのリーダーを務められています。

7、参加お申込み方法

7月11日(水)までに、添付の「参加申込書」にて、FAX または Eメールでお申込みください。

※ 誠に勝手ながら、定員(60名)になり次第締め切らせていただきます。

8、問い合わせ先

一般社団法人 Jミルク 前田浩史 (hirofumi.maeda@j-milk.jp)

細谷知広 (t-hosoya@j-milk.jp)

(以上)